

市長の窓

しげ のぶ
滋宣の

ほうちゅう かん

あんちゅう めい



イラスト
小熊真二さん

“忙中閑あり暗中明あり”

その 43

わすれなぐさ
～ 勿忘草 ～

春から夏にかけて、薄青(紫)色・鮮青色で五弁の花を咲かせる勿忘草は、日本のどこでも見られ、親しまれています。

原産はヨーロッパで、英名は「forget me not (私を忘れないで)」。和名は、直訳で風情がありませんが、それこそ何とも忘れがたい響きと優しさがあります。

花言葉は、「私を忘れないで」・「真実の愛」。

語源はドイツの伝説、悲恋物語によります。

昔、若い騎士ドルフが恋人と川べりを散歩している時、恋人のベルタが岸边に咲く青い花を見てそれを欲しがります。彼は恋人のためにその花を摘もうと岸に降りていき、誤って川の流れにのまれてしまいます。もう助からないと思った彼は、岸边の恋人に花を投げ、「私を忘れないで」と叫び、流されてしまいます。

その後、彼女は約束を守り、生涯その花を髪にさして、騎士のことを忘れなかったそうです。

わすれなぐさ

勿忘草日本の恋は黙って死ぬ

(中村草田男^{くさたお})

能代市長 齊藤 滋宣



4月1日、保健センターで、健康診査の受診PRのため、血液検査などの健康診査を受診しました。